

令和8年度 医師負担軽減計画

2026年7月28日

内容		取り組み事項	達成目標	達成時期
タスクシフト・タスクシェア	看護師	がん化学患者におけるがん化学療法穿刺看護師の更なる育成(がん看護経験3年以上対象) ・対象部署の看護師が研修修了し実践できるよう体制整備	がん化学療法目的の患者に対しがん化学療法穿刺看護師が薬剤投与を実施する(平日日中に限る)	2026年8月、2027年2月 ・全ての対象患者に対し実施
		看護師特定行為研修修了者の活用継続 ・重心病棟:動脈血ガス分析、人工呼吸器関連 ・一般病棟:動脈血ガス分析、胸腔ドレーン管理 ※創傷管理関連 ※感染に係る薬剤投与関連 ※精神および神経症状に係る薬剤投与関連 ※については、手順書作成中の段階である ・2026年度研修受講から新たな区分を取得予定 栄養に係るカテーテル管理(抹消留置型中心静脈カテーテル管理) 2027年度から実施できるよう体制整備	※項目関連の活動実施 新たな区分取得後の体制整備計画の策定	2026年10月 ・※関連項目の実施 2027年3月 ・新たな区分の実践計画策定
		医療メディエーター(専従看護師)の活動継続 ・特に救急搬送患者の病状説明に同席し、治療方針等の理解や患者・家族間の意思決定の支援を行うことで、治療が円滑に実施できる体制を整備する ・医師や関係職種との情報共有を図る ・メディエーターカンファレンスを毎週開催し、対応等の評価を実施する	前年度水準継続	-
	薬剤師	・外来患者の抗がん剤投与量と前投与薬(副作用軽減薬など)の事前確認の実施	左記業務運用の開始	2026年4月より実施
	臨床検査技師	検査結果にて、異常値等も含めた緊急所見を主治医に報告、直ちに治療を開始できる支援をする。 …主治医への結果報告のみならず、次に行うべき追加検査等のコンサルテーションを提案する。 具体的には、輸血後感染症検査の案内や血液検査、細菌検査での適切な追加検査の進言や問い合わせに対応する。	既に着手済 前年度水準継続	-
	診療放射線技師	CT検査内容の説明補助 ・検査後の注意事項説明等	前年度水準継続	-
		診療放射線技師によるRI注射実施	前年度水準継続	-
	管理栄養士	食事オーダー入力実施補助 ・患者の状態や嗜好に合わせた食事変更オーダー入力等	既に着手済 前年度水準継続	-
		入院時の栄養量および食種決定実施の補助 ・必要栄養量の算出および病態別管理、特別食加算の提案等	既に着手済 前年度水準継続	-
	児童指導員 保育士	療育指導室が、長期入所・短期入所の調整役となり、医師が担っている連絡・調整業務を軽減する。	医師の電話対応・書類対応時間の削減	令和8年度上半期より運用
		療育指導室が、医療的ケア児支援センターの相談業務や各種研修業務の調整役となり、医師が担っている連絡・調整業務を軽減する。	医師の電話対応・書類対応時間の削減	令和8年度上半期より運用
労務管理上の計画	医師事務作業補助者	医師事務作業補助者による業務補助継続(前年度以前より引き続き)	前年度水準継続	-
	当直について	連続当直を行わない勤務体制の継続(前年度以前より引き続き)	前年度水準継続	-
	育児等支援	育児・介護等による休業取得支援および短時間正規雇用医師の活用(前年度以前より引き続き)	前年度水準継続	-

令和8年度 看護職員負担軽減計画

2026年7月28日

内容		取り組み事項	達成目標	達成時期
タスク シフト・タ スクシェ ア	看護補助者	日中の看護補助者による療養援助業務の拡大 ・看護補助者の業務に必要な能力指標の運用評価 ・看護補助者の業務チェックリスト運用の修正 ・OJT研修の実施・評価を行う ・看護補助者活用のための看護師対象研修を実施	能力指標の運用後の評価 業務チェックリスト施行 研修企画・実施(全看護師)	2026年9月、2027年2月 ・能力指標運用後の評価 ・業務チェックリスト施行後の評価 2026年8月～11月 ・看護師対象研修実施
		夜間看護補助者による療養補助業務の拡大 ・年間に実施する研修の企画 ・直接的な患者見守り、体位変換などの実践 ・業務チェックリストを活用し、OJT教育を実施 ・現在の業務を見直し、必要時修正する	療養補助業務を拡大(見守り、ケアの補助) 業務チェックリスト施行	2026年9月、2027年2月 ・手順書の修正 ・業務拡大の評価
	臨床検査技師	外来採血の支援。 具体的には、採血混雑時に採血室に赴き採血業務を行う。	既に着手済 前年度水準継続	-
		朝の病棟検体回収および日中の外来検体搬送。 具体的には検査結果報告の短縮および問い合わせの減少。	既に着手済 前年度水準継続	-
	診療放射線技師	造影検査時の造影剤注射実施の検討 ・MRI造影剤注射の実施	前年度水準継続	-
		放射線治療を行う患者さんの送迎 (全員ではなく、患者さんの状況等により実施)	前年度水準継続	-
	管理栄養士	食物アレルギーに関連する問診実施の補助 ・看護師が行った問診後に、食物アレルギーを有する患者に対して詳細な聞き取りを実施することで看護師の問診に要する時間の一部を短縮する。	既に着手済 前年度水準継続	-
	理学療法士 作業療法士	外来6分間歩行試験時の外来看護師補助(理学療法士1名で運用)	既に着手済 前年度水準継続	-
	児童指導員 保育士	入所支援に関する説明について、療育指導室が同席または主担当となり、看護師が行っている説明業務(制度説明など)の一部を担う。	看護師の説明時間を短縮し、看護業務に集中できる体制を作る	令和8年度上半期より運用
	事務的補助	外来クラーク導入検討 ・導入後の効果を検証し、導入実現に向けた整備	具体的導入への計画立案	2026年7月 ・導入までの計画策定
		病棟クラーク(一般病棟)導入検討 ・入院時オリエンテーションや検査等の定型的な説明および各種書類の整理について業務量調査を実施し導入後の効果を検証	検証結果から具体的導入への計画立案	2026年6月 ・一般病棟看護師長および副看護師長に検証依頼
労務管理上の計画	看護師長	看護師長の2交代夜勤導入 ・看護師長業務の整備(副看護師長等への業務委譲) ・不在時における委員会・会議等の周知方法の整備 ・2交代勤務時の業務内容の検討 ・導入に際し、職員に向けての説明を行う	看護師長の労働環境の整備	2026年8月 ・2交代夜勤の実施 →看護部長室が中心

令和8年度 看護職員負担軽減計画

2026年7月28日

内容		取り組み事項	達成目標	達成時期
その他 (ICT活用)	勤務表作成	ICT技術を活用した勤務表自動作成機能の全病棟における実施評価(看護師長の管理業務負担軽減) ・勤務表作成期間の看護師長時間外勤務調査を実施検証 ・副看護師長の活用状況を検証	適用病棟拡大および看護師長等の管理職業務軽減 導入後の時間外勤務時間 10%減を目標とする	2026年8月、2027年2月 ・勤務表作成に係る全病棟看護師長および副看護師長の時間外勤務調査
	看護師	通信機能付きバイタル測定器の導入後の検証 ・記録時間短縮およびリアルタイムに患者情報を共有 ・超過勤務削減効果の検証(病棟看護師)	通信機能付きバイタル測定機器の導入後の目標を下記のとおりとする。 ・対象病棟での使用率について100% ・夜勤超過勤務時間(合計時間及び一人当たりの双方)について導入前の10%減	2026年6月、12月 ・全病棟の夜勤看護師対象に検証
	議事録作成	議事録音声入力システムの活用 ・音声入力後にCopiIotを活用し会議録等作成実施	各委員会・会議録作成時間の削減 ・教育委員会(90分→80分) ・褥瘡リンク会(60分→50分) ・認知症リンク会(60分→50分) 各会議約10%～20%減	2026年6月、12月 ・委員会・会議録作成時間を検証